

# 自治体のデジタル・トランスフォーメーション ～組織改革とマネジメント～

令和2年12月、政府において決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」で「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」のビジョンが示され、同日総務省から発表された「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」では、同ビジョン実現のために、住民に一番身近な基礎自治体が果たす役割が極めて重要であることが示された。

基礎自治体では、急速に進む少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症対策、激甚化する自然災害など眼前の課題に追われ、デジタル社会への推進には足踏みしている状況である。

しかしながら、今後起こり得る予測不能な課題に対し、基礎自治体により質の高い行政サービスを提供していくためには、行政業務の改革や組織体制刷新のカギとなるDXを理解し、自治体DXを推進していくことが必須となっている。

本研修では、自治体におけるDXがなかなか進まない原因を探り、自治体DXを推進するための組織改革やマネジメント、今後の展望や課題について、実例を交えながら考察する。

## 〈講師〉

一般社団法人 行政情報システム研究所 主席研究員  
**狩野 英司 氏**

## 〈プロフィール〉

中央官庁、大手シンクタンク、大手メーカーを経て現職。長年にわたり、行政のデジタル化に関する調査研究、業務改革、システム構築に、ユーザー/コンサルタントの両方の立場で携わる。現在は、自治体や地域の企業・団体向けに、研修や教材開発を通じた人材育成、アドバイザー、コンサルティングなどを行うほか、各種委員会の委員なども務める。兼業で地域DX推進人材育成企業D's Linkを経営。

一般社団法人 行政情報システム研究所 主席研究員、筑波大学大学院非常勤講師、電気学会情報システム技術委員会委員。情報処理技術者(ITストラテジスト及びプロジェクトマネージャ)、米国PMI認定Project Management Professional、Scrum Inc. 認定スクラムマスター。筑波大学大学院ビジネス科学研究科修了、修士(経営学)。筑波大学大学院博士後期課程修了、博士(システムズ・マネジメント)。

日時

令和3年 **10/28(木)** 15:00～17:00

場所

コンフォート新宿 Room A+B  
(新宿区新宿4丁目3-25 TOKYU REIT 新宿ビル 7階)

対象

管理職及び係長級の職員。ただし、受講を希望する主任も可。

申込

各区・事務組合の研修担当まで。

※研修生には、講義の参考にするため、デジタル・トランスフォーメーションに関する事前アンケートのご提出をお願いいたします。